

「ほな、次いこかあ。

いんで、みよかあ

シリーズ vol 73

"Well now, to the next go now.

Let`s go there, don`t you!?"

series vol 73

うときゅう いっき

by Khazu san

物書き

うときゅういっき



目次 (Agenda)

-contents-

●本編掌編小説 1

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その 1」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (1)”

●本編掌編小説 2

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その 2」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (2)”

●本編掌編小説 3

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その 3 の 1」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(1)”

●本編掌編小説 4

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その３の２」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(2)”

●本編掌編小説 5

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その３の３」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(3)”

●著者プロフィール(Writer`s profile)

序

2022/8/30

芭蕉に倣う

On seeking for new way of little bit long Japanese “Haiku” style.



「芭蕉の俳句が手本。このコンセプトを活かし、今少しガイド的な言葉添えをした新しい表現形式が出来ないものか？」

本書はその訓練に掌編小説を原稿箋3枚以内で書き表すトライアル・シリーズで御座います。

本編

2025/10/27

27th Oct. 25

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その1」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (1)”



(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その1」

「他の会社はどうか知らんが、少なくとも俺に報告する時は、希望的観測や、シャチョ、ヨイショの「お気遣い付度」はいらんぞ。

却って分析に時間が掛かって面倒だ。事実だけ報告しろ。

有効な答えが欲しければ、最低限、本当の問題を見つけて其れを問わな事には、有効な答え等手に入り様無なかろう。都合よく作り替えられた事実とは異なる報告を幾ら検討しても、有効な答えなんか見つかりっこない。逸された問題に、幾ら懸命に回答しても、的が外れているから、何時まで経ってもコアにヒットしない。尤もらしいが、遣ってみると少しも効力を発揮しない答えしか出て来ない。やってみてそれが当たっていない事が解るの

が時間の無駄、徒労でしかないと言っている。

聞こえのいい報告をすれば、一見それに対して有効そうに見える「回答映えのする」答えが返ってくるだろうが、結局それは何の役にも立たない「ゾンビ回答」でしかない。

再度言うが無駄な、遠回り時間が増えただけだ。性急な答えを求めすぎて却って時間的ロスを増やしてしまっている。手遅れの種をまいている。

会社を長続きさせたいければ、事実だけ報告しろ。当座、痛みは伴うが、その方が却って解決への最短距離に位置できる。

希望的観測やゾンビ回答を言って「一時、みんながハッピー」になっても、ダメだ。

却って迷走に走ってボディブローが徐々に効き、会社は長期間走れる体力を失って、気が付けば「茹でガエル状態」も同然、最早回復不能状態。

後は座して死を待つのみ、が関の山。もはや打つ手なし。手遅れ。

是も油断からだ。

最後は、自身の強大な力任せの一振りでふい落とせると思っていた問題だったろうが、思いのほかしつこく、絡みついてきて振っても、振っても、振りほどけない。そのうち毒が全身に回って来て、敢え無く頓死状態。こんな筈じゃなかったのに、と今になって悔やんでも仕方がない。将に手遅れ。

お前たちも長期間持続的にもらえる筈の給料が貰えなくなる憂き目にあうぞ。

でも、他の会社に移ったら、其処のシャチョがそう言うとは限らんから、其処に合わせて法華ムリしてろ。

敢えて何もうな。お前たちがにらまれるだけだ。

いいか？わかったか？

だが、少なくともここにいる間は、俺に忖度することなく、事実のみを報告する習慣をつけろ。

我がレストランは創業以来8年間にわたって一回も儲けを出していないし、社員の所得税の支払い半期に一度まとめてでイイ「納期の特例」ウケまくっている、将に「ゾンビ企業」イットセルフな風前の灯火（ともしび）企業だが、中にいる人間やその将来まで「ゾンビ」でいる訳にもいかん。

万年大赤字でありながら、俺が今迄、その悪い数字の報告聴いてお前らを怒鳴った事があるか？

数字が悪いのはシャチョの責任だと思っているから、お前らを怒鳴った事、一回もねえだろうがよ。

却って判断を間違えるから、俺をがっかりさせまいとする様な気休めの脚色は止めろと、逆に論しているじゃねえかよ」

「シャチョ、其れはそうとて、♪トテ、チテ、タ♪でおますが、「セクシー・ダイナマイツ早よ連れて来んかい」とは、しょ中、怒鳴ってハリマンねんけどなあ。

そっちの怒鳴りはいい訳でおマッカ？」

「ジャパンではシャチョは皆ドスケベだと云うておろうが、常、日頃。
だから、ワシはジャパンの「立派な」シャチョになるべく、日々精進しておるわけよ。
是は、その一環に過ぎぬであろうが、あん？」
「何につけ、物事は言い様でおまんにゃあ…シャチョ。メモ、メモ。
ジャパンの社長学、言いくるめ術、メモ、メモ」
「メモなどするな。身体で覚えよ」
「体で…フムフム…」
例の、ムチに、鎖に、ロウソクタラタラで覚えマンのキャ？」
「方法は幾らでもある。
それもワン・ノブ・ゼムじゃが…邪雅多羅国（邪雅多羅国＝今のタイの事）由来のじゃがいも面（づら）君よ…」
「お前さん、又昼間っから…ダメよ、妙な趣味とか意味不明の言動を、人さまにご披露申し上げちゃ…
ただでさえ帝国データバンクさんやら東京商工リサーチさんから、その驚くべき業績の悪さ故「日本の典型的ゾンビ企業」だっていわれてるのに、更に新たな絶望的ダメだめの「動かぬ証拠」、お見せしている様なもんじゃないのよ…
あそこのシャチョはドスケベな上に、変態ゾンビだ。先行き絶望的だってい言うダメ押し証拠」
「シャチョ、うちは結構♪スリラー♪な会社でおまんにゃあ」
「よければワシの事をマイケル：ジャクソン・イン・ジャパンと呼び給え…
アイツとは誕生日、1日違いの仲でもあるし…」
「???」
ダメだこりゃ。
これらの会社の企業動向調査による倒産予測や融資可否の信用調査報告の発行を待たずとも、わが社は再起可能性、将来性共に、ド素人判断においてすら、存続可能性ゼロだわ。
おお、コワッ」
「何言ってるのよ、今更。
ネパちゃんはこの会社に給料もさることながら、よりスリルを求めて来たんじゃないの…え？」
「ス、ス、スリル満点、過ぎますねえやわ、この会社。
そう思いまへん？ポホロ姉さん。限界、遥か彼方に超えてますわあ…危機管理訓練のし甲斐、ありすぎですわあ」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (1)”

“don` t know about the condition of other companies, however, at least when reporting to me Boss, no need attaching with hopeful report, or with concerning to me report, no need. Because it` ll take , rather, time more to analyze, so that report to me only facts, no decorated, no colored one.

If we want to get useful solution, at least, at first, as far as finding core problem out, and asking to own, no useful solution will get given to us.

Even if repeatedly, deeply checking the report which was retouched for reporter`s condition is better one, only type, never can find the useful solution out. It`s perfectly waste.

In the case of nice sounded report, have done it, at one glance nice “looked well” reply, will return to, however, it`s only no useful “zombie solution”.

Once more again I` ll repeat, it`s only increasing waste excursion time. Due to requiring quick solution, rather, invites time loss increasing, only.

If you want our company sustainable long, report to me facts only. At the time, feel uncomfortable, but, rather, can get a good location for “final solution” (=resolution)

Camouflage of reporting from hopeful perspective, zombie solution, vasa versa, it`s only inviting time limit over. Will get recovery shot timing lost, only.

They might count, at the final, they can swing the problems away by their strong swinging power, but in actual, the problems is stiffy more, more than their counting, so that they get the body power for long running lost under unknown, at the final, get down, the normal story.

You 2 also will get long term salary lost, the bad situation, falling into it, the possibility you have, might be.

But in the case of moving to, shifting to other company as a working place, however, even though, unless the boss of the company is the same type, match the atmosphere, hide your 2 insists or behaviors.

Dare, on purpose, no insist, you know? Understand?

But, at least, during of staying here, report to me only the facts!!

Our restaurant, during all through term, from open to until now, no time p/l is +profit.

Always huge minus profit, huge loss any term, called great “zombie company” just itself.

However, or inside restaurant crews, or in the future our company never get turned to be zombie condition, never!!

Despite of that company p/l records is every year big loss, even if once until now, you 2 have experiences of getting bashed by due to bad sales reporting from me Boss, An?

I own recognize bad sales amount is company top me, my judgement is wrong, so that no time to bash you 2!! Rather, has said to you 2, even though will cause a misjudge, straight

fact report, should have done, I always say, An?"

"Don Qui Hote Boss, sure, sure, shu, shu, "shoe cream" (=cream puff), "Arnold "Sch"-warzenegger", "shrimp, shrimp, trump, shrimp", like this way, you Boss always shout "Bring here, sexy dynamites, quick!!". Is it other route?"

"I always lecture to you, in Japan, boss is ultra, super, hyper pervert guy, it`s fixed one. So that everyday I keep trying to get turned to be "great" boss, have continuing the training, by sexy dynamites. It`s 🎵my sunshine, my only sunshine, you make me happy, when sky the gray🎵merely, only my routine training, An?"

"Wow, nice camouflage operation of Japanese boss`s way, Don Qui Hote Boss!! I`ll write it down on my memo-pad, memo-pad!!"

"No need any memo-pad, something like that!!

Memorize it inside your physical body!!"

"By my physical body using...hm, hm..."

It above your advice means that by your famous, S & M play style? By whip, by chain, by candle hot drops pouring style?"

"Operation way, so any we have. It`s one of them, might be, a..."

"Hey you, Darling, from shiny daytime, About S & M play matter, never open to public. Minimum, from research companies doubted your company as a typical Japanese "zombie company", due to unbelievable bad p/l continuous records, more additional new evidence concerning to dumb company presents to them, like a..."

That company boss is basically ultra super hyper pervert guy, add on additionally, "crazy zombie" guy, the obvious fixed evidence core found it out, this company has no future, they might say."

"Don Qui Hote Boss, our company is very 🎵thriller🎵 company!!"

"If you agree, call me "Michel Jacson in Japan", would you, please?

His birthday and my birthday, only 1 day difference, the team also..."

"???"

Oops, no way..."

Our company sustainability is easily can be judged , "0", before those research company reports coming out!! Ax, Fear, fear!!"

"What are you complaining, even at now?

You 2 Nepali joined in this company, on purpose getting thrill rather than getting hi salary or not? An?"

"Over full spec. thrilling, this company has.

Don`t you think so, madam Poholo? Thrilling lever is already far more limit over. Training for crisis management level up, too much useful here!!"

2025/10/28

28th Oct.25

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その2」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (2)”



(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その2」

「ネットをブラウジングしていたら以下の記事を見つけて面白そうだなと思った。

(その記事、以下)

“私たちはいま、たくさんのゾンビに囲まれ暮らしています。目を凝らして見てください。映画やゲームから町おこしまで、あなたの隣で彷徨（さまよ）い歩くその姿を。「ゾンビ企業」や「ゾンビ状態」という言葉が注釈なしで語れる時代になったのです。しかも恐ろしいだけの存在ではありません。どうやら私たちは時にゾンビに共感し、寄り添い、なりたがってさえいるようなのです”

(引用1回目、以上終了)

そしてこの記事の書き出しも面白いと思ったのだが、それ以上にこの記事の意外な長さに驚いた。

是を描いた記者は、可成りノリノリで、本気で自分の関心事を書いているなという気がしたからだ。

但し、こんないい方は止めた方がいいと思った。それは、

(以下、その記事の引用2回目)

“ある人は「いつもと違う自分になれる。非日常体験が大きな魅力」と分析。”

(以上、第2回目引用終わり)

こんな御大層な言い方を載せると、幾ら「その話者の分析だ」と断り書きを入れても、この記事を読んだ人は、自分とは関係ない対岸の火事の様なものに感じてしまって、折角の

気付きのチャンスから離れてしまうのではなかろうか？

もっと直截に

「今の暮らし、もう飽きた。息苦しいからヤダ。人の目気にして、お行儀よくして、びくびくしてんのもうヤダ。結果、当り障りなしで、何にも起こらない不完全燃焼な生活、もうつくづくヤダ、全然、面白くない！！私たちは人の基準に合わせて、完全にゾンビ化してる！！ゾンビのままで死んじゃうなんて、ヤダ。生きてンダカ死んでんだか分んないような生活、もうヤダ！！」

ミタイに書いた方がいいような気がしたんだが…

それと、

（第3回目引用、以下）

“近年はゾンビが増殖する局面ではなく、ゾンビがすでにまん延している社会を描くケースも多い。

その人によると「ゾンビは一人の魔王を倒して終わり、という話ではない。個ではなく集団。つまりゾンビは現象であり、主人公レベルでは解決できない」。

であるからこそ、極めて困難な環境の中でどう生きるかというシリアスな人間劇にもなる。2000年代以降、ゾンビは様々な媒体やイベントに登場するようになり、世界的なブームを迎えている。

「いま」はゾンビの増殖に適した時代ということなのだろうか。

身の回りに感染者が広がる。次は自分かもしれない。

恐れるあまり、感染予防の努力が足りないと感じる人たちを見つけ出しては非難を浴びせ、やがては感染者の家族や感染者を助けようとする人たちにまで矛先を向ける――。

これはゾンビ作品のあらすじではない。

つい数年前、私たちが身近に見聞きし、演じてきたことだ。新型コロナウイルスはゾンビだったのか。

それとも本当の「ゾンビ」は、タガが外れた時のいまの社会の方なのだろうか。

多くのゾンビ作品で、人間は襲われる立場である一方、ゾンビを躊躇（ちゅうちょ）なく抹殺してきた。

「姿形は変わらないが、理解し合えない他者」をゾンビだとみなせば、隔離だって追放だって空爆だって、ためらう必要はない。

「みんな、生きづらくない？ ゾンビになれば平等で幸せだよ」。

ゾンビイベントで耳にするこうしたナレーションも、いまがゾンビ時代であることを感じさせる“

（以上、第3回目引用終わり）

流石一般ピーポーはスルドイ。

でも、皆、既に気付いているのに、ここまでわかっているのに、何も変わらない。

なんかここで止まってしまっている。
突き抜けようとせずに、馴染もうとしている様な気がする。
なんで？」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (2)”

“When I was browsing on internet sites, I got found it, out, “it might be interesting”, I supposed.

(below, the article)

“At now, we are living, while getting surrounded by zombies. Gaze at around, would you, please!! For example, from in movies, in games, until to activating ghost town, beside you wondering, the shapes of zombies be gazing at, would you. The era already got turned to be era which could get talked about, to each other, without explanation concerning to “zombie company”, “zombie condition”. Additionally, it`s not only terrible one, but also sometimes friendly to us, familiar with us, and sometimes it`s the one we want to get turned to be, the one might be.”

(the article ended)

The catch copy of this article head line was interested in, and additionally a little bit got surprised by unexpected length of this article.

From it, I supposed that this article`s writer might get excited, while counting it as own matter, I supposed.

But, below speaking style, stopping is better, I thought. The one is below,

(2nd, quotation, start)

“Someone analyze “can be own who is different from commodity own, thus the non usual experience is attractive point.”

(2nd quotation getting over)

But in the case of thus above speaker`s tyrant style quotation published on article, even if attaching comment which is that this saying is speaker`s analysis, the audience of this article might run away due to miscounting it, “it`s not our matters”

If thus miscounting happen, just straightly saying might be better, like this, below,

“Current now commodity life, already got tired of!! Too much tight breathing never anymore!! To got forced good style keeping, never!! To got fastened by other one`s eye beams, never!! As a result, no touch anything, the life safety, is too much enough!! Thus frustration full occupied life, anymore never!! We are not non-soul zombie. We reject

zombie life!!”

Thus directly, better, I think so!!

And ,

(3rd quotation, below start)

“Recently, to the later focusing cases so many, focusing point is not on the way of zombies increasing, but focusing at already zombie full occupy into our society, the cases is increasing.

According to his opinion, “zombie story`s ending is not proper “one” beaten down, invited but it`s more complicated one in our current society, because zombies getting expanded over to our society all, inside staying our massive all, in each ones inside staying.”

(mid part pass)

“Hey, everybody, are you feeling it`s difficult living through? Getting turned to be zombie, it`s flat, so that getting happiness!!”

At the zombie events, so many times hearing of above phrase is making me feeling “current now era is “zombie era””

(3rd quotation getting over)

Wow, general people`s sense is very sharp!!

But, already noticing until this level, however, anything is no changed, all the same as before. All stopping here.

Why some I feel, no challenge, but being familiar with current flow, feeling like.

Why?”

2025/10/29

29th Oct. 25

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その3の1」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(1)”



(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その3の1」

「当店来店客のうち、いずれ、家族連れが減るであろう事は、前から予感があった。

以前俺の外国人お師匠様のカーリー・レストランで

「家族でレストランに来てるのにみんなそれぞれスマホ見てる。皆何しに、わざわざお金払ってまで、レストランに来てるの？」

と不思議がられた時に、それを予感した。

何かのきっかけで、そんな外見作りだけの無駄なお金、払わなくなる日が来るかもしれない、って。

そしてそれが今、だ。この不景気で、それがふるいを掛けたようだ。

来ているお客さんは個人か友達連れだけ。家族ずれはほとんど来なくなった。

「なかよし家族を人さまに見せるために、もうこれ以上無駄なお金を使う余裕はない」

というのが、恐らくその理由。

元々、俺は血縁という天与の偶然の結びつきである家族より、個人の意思が反映した天与の偶然ではない結び付の強い他人同士の方に重きを置く傾向があったしな。

だって家族同士だからって、それだけの理由で、必ずしも意見や気が合うとは限らんだろう？

あの時、ターゲットを家族連れから個人か友達連れ主体に舵を切っておいてよかった。

それらの個人か友達連れ層のファンづくりに舵を切っておいてよかった。

主（あるじ）の見栄の張り方次第の大盤振る舞いによる不確かな売上アップは追わず、**か**といって食い物の質は落とさず、価格帯は押さえ、売り上げ増にはならないが、現状の売上を減らさないように舵を切り替え、たとえお客さんが一人で来ても、くつろげる雰囲気造りに注力しておいてヨカッタ。

コストは可成りかかったが、明日に繋がるし、良質のお客さんを発見できる…これもネット広告なんかの不特定多数を狙った広告を止めて、その財源を直接お客さんが実感できる、個別商品の質の維持に回したからなんとかできた訳だが…

ファンは景気変動に影響されにくい特性がある。再来店率が極めて高くもある。

そして何より店の財産になり得る。お客さんとの繋がりも深くなり得る。

もしかしたら、上述の深さ、強さが感じられない今どきの家族連れのお客さんの中にある種の脆さを感じ取っていたのかもしれない。

ちょっとした衝撃で、体勢がいとも簡単に崩れるもろさ。それを感じたのかもしれない。

論理ではなく直感でそう感じたんだ。その時。

それで、いつか来なくなる様な気がして、期待来客数、予測損益から、その部分を除外して資金運用計画を立てるように切り替えた。

積上げより、ボトム・コアが何処なのかを探る事の方が資金運用計画立案上、肝要だと思う。それ以外は当てにならないバブルだと思っていた方がいい。そんな不安定で脆い砂の上に、見栄はって、可成りの重量物で、しかもその重量限度を越した「豪勢な楼閣」を立ててはなるまい。

（次回へ続く）

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(1)”

“Within customers of our restaurant visiting, sooner or later, quantity of family members type customers getting reduced, thus the 6th sense, I already have felt.

Former, at the curry restaurant of my foreigner master, he asked to me below,

“Why Japanese family members group customers each one independently without conversation, only own possessive mobile phone texting, despite of spending money charged? Why?”

At the time, I got caught 6th sense.

From some trigger, the day when they no spend waste money for camouflage dummy make-up of “friendly family outlooks” keeping to arounds might be visiting in the future, I inspired.

And the inspiration happening time, is just now. In this time, by strong recession it got

selected, waste money spending or not, the selection, looks like.

Visitor of our restaurant is only individual or friend circle type customers only. Almost of all, family type customers is none, recently.

“For appealing own family is “friendly family” to others, still not money enough for spending yet “ might be their true voice.

Originally, I have a tendency to prefer to put a weight on, more to to each others consciously connection strong, the others team rather than, named “blood connection”, heaven`s gift, production of as it happen, the “family members connection” team.

Because even if under the same family, the member, members to each other, opinions, minds is matched, it is not unless, not can be fixed, is it?

At the time, my had done a choi was better, I suppose, The choice means that turning rudder from, target was, family type to individuals, friend circle type

Turning rudder to make a fun, building up, the direction setting up was better choice, I suppose.

No tracking after fragile sales amounts “up” which is depending on family main person`s random happening big service payment from main person`s style keeping, vasa versa, no tracking after sales amounts up, changing to save the sales amounts, getting lost, despite of it, keeping the offering dishes quality, saving the selling price up, and making atmosphere for visitors relax, have tried concentratedly. It was better choice, I suppose.

Sure that cost hi up for keeping it, but it makes us can continue to tomorrow harvest, can discover nice quality customers. This condition can be set up is due to ad budget shifting from ad on internet site roughly targeting to focusing actual food quality keeping, direct service, can have been realized, I suppose...

Fun layer of customers have characteristics of not so easily swung by economy condition changing. Repeated visiting % is so hi, usual is also.

And first of all, they can get turned to be our restaurant`s property, loyalty, asset.

Additionally, can build deep linkage up with genuine customers.

Tentatively, my animal antenna got caught the fragile which above type no carrying, of current type family team unconsciously got might be...at the time.

Even by tiny shock, can get broken, the fragile, at the time, unconsciously got caught, might be, was.

From it, someday in near future, we have possibility of those type customers no visiting at our restaurant, I inspirated, so that turned the rudder dynamic, might be. Therefore never plan the money flow fragile proposal like this gorgeous building on the sand. Got put this foggy fragile parts on aside, made a hard as possible hard as we can, money flow plan, got building up.

I think it's more important to seek the bottom core rather than adding on and on, for the planning of money flow plan. Except bottom core, putting on it is all dummy bubbly one, regarding to thus, is better, I suppose. Never add on and on thus fragile one.

(to be continued to next article)

2025/10/30

30th Oct. 25

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その3の2」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(2)”



(Always texting, no communicating with neighbor, the zombies, all over the world)

(🎵Hot🎵 Japanese tea)

In Japanese “Hotto” pronunciation means “having a break in relax mode” in English

(*Japanese expression ver.*)

「ゾンビ考 その3の2」

(前記事からの続き)

「それにしても、この隣近所でも「ああ、コリヤ仲のいい家族だなあ」とほのぼのした暖かさを感じるような家が一軒もない。

皆、表向き「なかよし家族」を演出しているが、実態は何となく、仮面の下に隠された顔は「ゾンビそのもの」みたいでコワイ。「勝ち組演出術」がコワイ。見ていて、息苦しくなる。「そうまでして…」とため息が出る。

クリスマスの飾りつけも、家族用に家の中に飾るんじゃなくて、通行人から「ハッピー家族」と評価されるように外中心に飾ってある。或いは内外両方飾ってあるとすると、表の分だけ余計なコストがかかっている事になる。

そんな表への演出や隠された努力をする一方で、片方では、家族メンバーの反乱を無理やり抑え込んでいる、隠しまくっている様な気がしてならない。

外にも内にも押しつけがましいだけで、コストばかりかかって、誰もハッピーな思いをしていないのに。

やっていること全部が的外れなムダ。大いなる馬鹿さ加減。

それならむしろゾンビはゾンビで、それをさらけ出さないと。
それを表にばれない様に隠しまくるんじゃないで。
でないと、「本当に仲のいい家族」からどんどん遠ざかるばかり。
ドンドン反対方向に進んでいる。悪化の一途をたどるだけ。
厚化粧のボロが出ない様に更にその上に厚化粧を施して、誤魔化しているのと一緒に。
肌荒れがどんどん進んで、素肌もどんどん呼吸困難になっていくだけ。
そのうち素肌回復不能になっちゃう…
自分に非難が及ばない問題を「これぞ問題だ」とすり替えて立て、それに合わせた解決策を幾ら作っても何の改善にもたどり着かないのと一緒にだ。
♪労多くして実少なし♪のまんま。最後は手遅れ宣告。
手遅れにならないようにするには、問題を正面から把握して、適切な処置をタイミングよく講じないと、いけない気がする。
「そんなこと言ったってそう簡単には…」なんて言って問題解決を先送りになっていると…
いつかは、本当にドッカ〜ン！！だろう。
痛み止めのステロイド剤投与の針を抜いた時に起きるショック症状が怖くて、見て見ぬふりの問題先送りしているのと同じだ。
その間に自力能力はどんどん落ちて、問題はどんどん膨らんでいく。肩やダウン、方やアップだから、そのうち手に負えなくなる。手の施しようがなくなる。
その上、この世のメカニズム（淘汰メカニズム）は更に無慈悲に働く。情状酌量の余地は全くない。NG だったら有無を言わず、即刻処分される。大量生産の規格外ロット落ち処の騒ぎじゃない。
淘汰規格外で、ほぼ全数落ち、ワンラインまとめてオール・ロット・アウトだ。
というのも、天が求める♪人事を尽くして天命を待つ♪を成り立たせる前提の、「自力品質」ゼロなんだから…
(次回に続く)

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(2)”

(continued one from previous my article)

“By the way, nearby here, “friendly heartfelt to each other type family”, no there in neighbors. All of them, outlooks, they are pretending to be a “friendly heartfelt to each other family” by drama technique, however, in real, in actual, under their facial mask, I can imagine their hidden zombie face, so that I feel it scared. The drama tech. of trying to join in winner team makes me scared, rather, forces me scared. “Until have done a such…”, I got sighed.

Christmas decoration is not decorated for family members inside house, but is decorated for outside street for passersby from whom getting his evaluation of “happy family”, or in the case of both side decorated, double cost, inside, outside. If it’s so, outside decoration cost is waste. Very cost hard!! Every years cost on them..

Thus above, on one hand, decoration for outside passersby or hidden efforts from cost matter, on the other hand, to inside, to family members, forcing their complaints pressed down, hiding inside facts, I imagine, I suppose.

To outside, to inside, to both sides, like a tyrant atmosphere, cost-up more only, despite of it, no one feel happy.

All, out of hitting point, all is waste, all is stupid!!

If it’s the fact, rather, “we are zombie”, the fact, have it to open, have it to show out to others for getting condition well,

Not hiding the fact, but to open it.

If no stopping above it, more and more, far and far away, true “friendly family”, more and more, far and far away, merely only.

Running toward opposite direction, getting worse and worse, more, only.

It’s the same as low skill cosmetics way. For camouflaging low skill tech. , for hiding it, more, more putting on, more, more painting on, cosmetic mask on and on, the same, looks like.

During, within inside it, real own original skin getting worse and worse, because of skin getting difficulty of “smooth breathing”.

Sooner or later, “limit over”, thus announcement coming only...

It’s the same result happen, above. Replacing from the fact problem to dummy problem, for escaping from responsibility, never can reach to useful solution, the same as.

♪labor much, harvest few♪,the same. And final announcement, “too late”!!

For escaping from, rejecting, “too late”, grabbing the fact, gazing at the problem, without running away, resolving, only, might be, I suppose.

“you say so easily, but it’s not so easy to have done it...”, like this, toss-pass sending the problem to the future...sooner or later, volcano explosion, Bang!!”

It’s the same as toss-pass problem sending to in the future, like a at the time of steroid medicine for saving pains, the injection put off, hesitating it, because of being afraid of shock symptom happens.

During it, under unknown, own power getting down, down, problem balloon getting more, more. The difference of this “up and down” will reach to uncontrolled level, sooner or later never can save.

Additionally, in his world “selection” mechanism more, dynamic judging. No there be permission, no getting allowed. In the case of getting judged “NG”, just at once getting

killed. It`s not rather than mass production`s lot out, from standard limit out of. It`s more severe.

Due to standard limit of “selection” out, all one line level, “lot out” is.

Because heaven requiring 🎵own effort full have done, after it, waiting for heaven`s judgement, heaven giving chance, heaven`s gift.🎵inviting thus condition, the “quality of own efforts” is zero…because of.”

(to be continued to next article…)

2025/10/30-2

30th -2 Oct. 25

(Japanese expression ver.)

「ゾンビ考 その3の3」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(3)”



(🎵Hot🎵 Japanese tea)

In Japanese “Hotto” pronunciation means “having a break in relax mode” in English

(前回からの続き)

「またぞろ、デフレスパイラルに戻っている様だ。

兎に角、お金を使わない。

しかし前と違っているのは、使う使わない対象にメリハリがありそうなことだ。

日用品なんかは徹底的な節約をするが、そのお金を単に溜め込むんじゃなくて、自分の趣味とかに振り向けて投じている様だ。

そういうのを見ると単に物を買う事や安く手に入れる事のみが心の満足だった前回と違って、そんなものじゃ何の役にも立たない事が分って、それ以外の何かを探し始めているようにも思える。特に若い世代は…

推し活ばやりなのは、その表れの一端なのかもしれないな。

確かに景気後退期下の物価高、今回初体験みたいなスタグフレーションのせいで、給料は減るが、さりとて物価高。お金を貯めておいても目減りするだけという今回初お目見えの事情も影響しているのかもしれないが…

だが、推し活への異常な力の入れようを見ると、其ればかりとも言えない気もする。
その点について、新しい芽が出始めているのか、スタグフレーション対応だけなのか？その辺どっちの影響が強いのか、今はまだ判然としていないんだけどね…
兎に角、長いものに巻かれっぱなしの、ゾンビにだけはなりたくないようには見える。
今のZ世代は。(我が国の)親の世代や先代の氷河期世代の、二の舞だけにはなりたくないみたい…
彼らを縛ったお金や肩書、地位、名誉なんかに、もうそれに振り回されたくないから、それ以外の何かを探し始めている様にも見える。社畜、家畜、金畜(お金の奴隷)から抜け出したいようにも見える。
どうにかして、殺生与奪の権を、自分側に取り戻そう(=自分の主は自分でいたい)とあがいているようにも見える…
もちろん暗中模索の五里霧中状態みたいだけど。未だ方向性見えず、ではあるんだろうけど…
でも、あがき始めている。ダメ元かもしれないと知りつつも、座して死を待つよりは、何かを探しに撃って出てきている様に見える。理性からというより感性からだろうなあ。
もしZ世代だけで手が足んなきゃ、俺たちが手を貸すぜ。ジジババ世代も。
今迄の偏った経験知恵じゃなくて、お前らと一緒に新しい経験や知恵を獲得する為にも、な。
遅ればせではあるが♪古い上着よさようなら。楽しい夢よさようなら。青い山脈。雪割桜♪と行くぜ。
兎に角、どうせ残り少ない人生、後顧の憂いなく、パッと行くぜ。
♪がむしゃら街道まっしぐら♪、だ。ゾンビなんか蹴飛ばしてやる！！」
「お前さん、くっ喋り過ぎて喉、乾いたろう。お茶入れておくよ。後で飲みな、ここに置いとくよ」
「あんがとよ、ポホロ。♪感謝、感激、雨、アラレ♪サンキュ、ベラマッチョ、ポホロ！！」
「毎度のことながら、ノリが良すぎる！！人格も軽すぎる！！」

(English expression ver.)

“A thinking about Zombie, (3)-part(3)”

(continued one from previous my article)

“Again and again, looks like returning to deflation term in our country.

In any cases customers no spending money.

But the difference from in previous time, the tendency is separating of, spending field, non

spending field, with strong and not strong accent, looks like, the point, according to my observation.

For example, almost perfectly, saving the money spending for commodity. But no holding in own pocket, rather, shifting to spend for own comfortable field, hobby field, looked like.

According to thus above my observation, in previous time mind satisfaction was only to purchase goods, or to get lower cost goods purchasing, but in this time, looks like a little bit different, looks like wondering, exploring something others because in previous time, thus above no can occupy vacant mind, already got noticed, might got. Especially young generation people, looks like so.

“Oshi-Katsu(=押し活=Rushing into comfortable field, the activity)” getting influent recently, is one of above appearing, might be.

Sure that it might be due to influence from “stagflation” which is, for them first experience, under recession, salary down, at the same time running inflation,=products price up, so that saving money is waste, they already noticed, from it they are spending money to comfortable to own, the field, might be.

But watching at young generation almost looked like crazy, abnormal behavior, above my explanation is not enough full, might be.

Concerning to it, or new sprout coming out, or merely only prep. for stagflation, which is correct answer, I still not can clear to my question, yet.

Anyway, young generation rejects non soul, like a zombie life, looks like.

Current now young generation, in our country Z generation, rejects to be a copy of parents generation, 15 years ago company employment so got down from global financial risk, called in our country “Lehman Shock” generation, looks like.

Even though they no hope to be swung by the ones which fastened them, for example, money, status, name value, etc. they , young generation began to look for new one except former generation`s targets, looks like. From servant life under company, family, money, from own side began to drop out, looks like also.

How to do, they don`t know the way, despite of it, they want to get the rights of making a decision of concerning to own course, want to be own owner is own, the situation wants to get, also looks like.

Sure that still at now, they can`t find the way out, during the term of under the fog, inside wondering condition.

Despite of it, they began to drop out from own side, began to reject above, try to change, try to turn around, while knowing the possibility of getting a win lost. Because of not from logical perspective, but from sense of emotion, might be, looks like.

If not enough power by young generation only, we, old aged generation also, power

supporting, also!!

It`s not until now, had gotten curved experience, wisdom, but new experience, wisdom building up together, while learning with your generation members, for getting it, us also.

It might be too late, but we will let it do like a Japanese old song phrase 🎵good bye old uniform, good bye enjoyable dream!! Young generation resistance trials🎵 let`s do!!

Anyway, the left life time a few, we, generation, without hesitation, let`s do, let`s drill it up while running even if it`s on off road, while kicking zombies out!!”

“Hey you, Darling, got thirty from too much over speaking. I`ll put a Japanese type hot green tea here. Later take drinking it up.”

“Thanks Poholo, I`m so happy!! 🎵happy come. come🎵,lol, lol, bravo!! “

“As usual pattern, too much appealing, too much light weight his brain also, like a paper!!

OMG!!@@;;;got tired, me···”

著者プロフィール) Writer`s profile.

うときゅう いっき(writer`s name utokyu ikki or Khazu san)

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

1953 年東京生まれ(was born in 1953 in Japan.)

早稲田大学第 1 文学部露文学科を 2 回留年の後、卒業。

国内電機メーカー家電製品商品企画部に 20 年間勤務。同子会社経理部等に 16 年間勤務。

40 歳から 52 歳まで 12 年間うつ病を罹患。

左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊等を経験。

定年後、株式会社 う と Q を設立 (After retirement from Toshiba, established, “utokyu corporation” in 2014)

現在主業はネパールカレー屋。(Now main business Nepali curry restaurant, “Namaste everybody” owner)

趣味は観察すること、考えること、書くこと、盗撮はしないスマホ・カメラの四つの k。

著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。

漢字表記にしますと、かなり御大層な人物に見え、実態に全くそぐっておりませんので、誤解を招かぬよう音読みひらがなで表記しております。

ホームページ：<http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅういっき

発行人 宇都宮一貴

発行所：株式会社 う と Q ナマステ別館堂出版部

〒215-0018

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5 丁目 3 4 番 7 号

電話 (phone)：044 - 989 - 1698

発 売 株式会社 う と Q ナマステ別館堂出版部

編 輯 「ナマステ別館堂出版部」

カバーデザイン & DTP 製作 当面の間「ナマステ別館堂出版部」及び「ナレッジフォレスト 大竹鉄哉」

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in Japan from 2020

発行日：2025/10/30 日初版発行 (30th Oct. 25 released.)

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。All cory rights reserved.

(その他著書)

●多数

●尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用しております。当社には著作権、版權は全くない事を明記させて戴きます。